牧師室便り

介護士 まりちゃん

—5—

長尾　知明

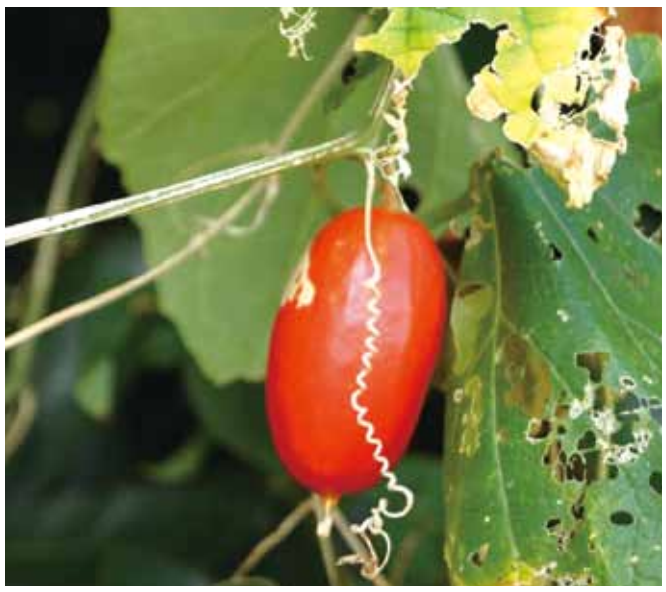
壱岐に来る前、私は東京の中目黒で2年半を過しましたが、そのうちの約1年、ドライバーとして有料老人施設で働かせていただきました。介護施設には今時の若者がたくさん介護士として働いていました。その中で、とても印象に残る女の子がいました。その名を仮に、まりちゃんといたします。

まりちゃんの何が印象に残っているかと申しますと、びっくりするくらい、仕事振りがたどたどしかったことです。食事の配膳などもキビキビとスムーズにはいかないのです。とても一生懸命な様子に、好感は持てるのですが…。通院の付添なども、まりちゃんが同行すると、他のスタッフの倍ぐらい時間がかかってしまうのです。けれども、お年寄りの皆様からの人気はダントツでした。ジュースやお菓子を持たされまして「これ、まりちゃんに」と、私はよくお託（ことづけ）を頼まれたものです。

どういうことだろうかと、介護士経験者である兄に聞いてみたところ、「おれにはよく分かる。それは当然だ」とのこと。不慣れな介護士の、その時間がかかるところが良いのだ。お年寄りは自分のペースで自分のことができる。そこが人気の秘密である。仕事の速い介護士の場合、そうはいかない。「おれも不慣れな新人の頃は人気があった。感謝された。仕事が速くなってからはあまり感謝されなくなったな」。

施設の責任者や同僚がまりちゃんをどう評価したのかという点はあるにしても、お年寄りがまりちゃんを好きだという点から、学ぶべきことも多いのではと感じます。より多くの仕事をより早く正確に処理することが効率よい優秀な働きなのでしょうが、他にも価値基準の座標軸があっても良いのではと思うのです。

おじいさんを家で看取ったことが介護士になった動機とのこと。仕事のことで辛い思いをしていなかったはずはないとも思います。けれども、できれば今でも介護の仕事をしてくれていたらと、まりちゃんの姿は素敵な印象で私の心に残っています。



投稿

保健と温泉

篠﨑　義孝

「敬老の日に寄せて」を前号で投稿したが、長老の先輩が長寿の秘訣をくわしく話されたことを想起し述べてみたい。

何事も心配しないで働くことである。体を動かすことである。彼は、当時ビーバー（草刈機）で崖や田畑で時たま見かけていた。

「お茶が飲みたい、酒食がほしい。すべて体が要求しているからだ」と言っておられた。

私は腰痛と頸椎痛のため、半生は神経痛で悩みつづけている。湯ノ本温泉に入湯していたが、女将さんが「ここに来ていただくのは有難いが、江角の山本温泉に行かれたらいいですよ」と親切に教えてくれた。

近くの医院に治療をしていただき、併せて入湯し、一週間位して、また入湯。ゆっくりあがったところ、衣服の着がえは楽になり快癒したのである。この温泉も今は故障のため休止されている。復活されることを願うだけである。

持病の糖尿病も病院で治療をしていただき、血糖値も下がり安定している。余生を保健のため読書などしながら体調を保持していきたい。

《壱岐新報川柳》壱岐川柳会

兼題「同じ」

瀬川伸幸　選

同じ事くり返し聞く年になる　久恵
生涯を同じ目線で逢える友　ふみこ
同意見握手交わした裏政治　洋子
喜寿めざし健やかな日々誓う友　春菜
同窓会久しき笑みで共に老い　ふみこ
一歩前進同じ日々を泳ぎ切る　甫釧
夫の中の同じ目線の舫い風　緋呂子
台風が同じ進路でやって来た　久恵
逢いにゆく同じ鼓動を胸に抱き　扶巳
国敗れ同じ昭和の歌偲ぶ　ゆたか
ＡＫＢ４８同じ顔に見えてくる　華子
繰り返す父に笑顔の相槌を　絹代
同床異夢猫と私の家族愛　緋呂子
同床異夢　君は君でいいんだよ　健人

兼題「海」

藤本健人　選

同床異夢あすは翔び発つ蝶になる　篤世
島の灯も胸の灯もひとつ点れり　伸吾
別れても同じタイプを好きになる　華子
老いてなおキミはステキに同窓会　幸子
同じ匂いの同じ翳りの眼を待てり　伸吾
そうですね短所長所も五分と五分　華子
いつからかあなたと同じ色を選る　篤世
人　寄り添うように同じ傷もつ　ふたり　伸吾
地　逝く時は誰もが同じ花柩　扶巳
天　原発の同心円にあるむじゅん　篤世
軸吟　ＤＮＡ親父の癖が身にまとい

知床の思い出探し光る海　洋子
囚われの人待つ北の海遠く　海秀
沈む陽の海へ口笛吹いている　ふみこ
豊漁の海から見える山の青　伸幸
いわし雲　夕凪の海あかく染め　星舟
南海に沈んだ父の顔知らず　春菜
父さんと呼べば手を振る亡父の海　幸子
密やかに南海トラフ牙を研ぐ　千津子
遠いとおい海の記憶や桜貝　甫釧
ざわざわと海に溶けこむ海の私語　扶巳
潮掬う掌に尖閣は　重き名よ　ゆたか
海女仲間女盛りを海に生き　久恵
夫の海溺れることもない絆　緋呂子
海痩せて虚しく男漁船（ふね）下りる　漣
海穏やかに話のつづき所望され　絹代
送り火や海渡りゆく父と母　伸吾
海よ海よ海よ眠りなさい海よ　華子
海鳴りか亡父の声して広がる無　篤世
この海に抱えきれない罪流す　華子
たおやかに言葉少なき妻の海　伸吾
海ばかり描く少年の日の宇宙　愛郷
人　海に老い海からもらう子守唄　愛郷
地　散骨の行方語らぬ海の碧　篤世
天　散骨の海に墓標の風が立つ　漣
軸吟　海鳴りを還らぬ人の叫びとも

あしべ文芸第214号 平成24年度 互選会

《短歌》
◎高点賞
母の日に嫁に貰いし鉄線花我が庭先にしっかり根付く　幸子
◎選者賞（町田典子選）
擦れ違いライトで合図くれる人クイズ解くごと次へ合図を　絹代

《俳句》
◎高点賞
パラソルをくるり薫風曽良の墓　絹代
◎選者賞（興津美智子選）
紫陽花や待ちくたびれし低気圧　和代
◎吉木八重子賞
新茶売る薩摩おごじょの赤いタスキ　登志江

《川柳》
◎高点賞
梅雨しとど遊びに飽いた子の寝顔　絹代
長雨に人恋しくて眉を引く　幸子
◎選者賞（江川漣選）
長雨に人恋しくて眉を引く　幸子

秋の全国火災予防運動

壱岐消防だより

【9月の火災】
▽発生0件▽累計18件▽

【9月の救急】
▽出動116件▽累計1159件▽急病70件▽一般負傷26件▽交通事故8件▽自損行為2件▽運動競技1件▽その他（転院等）9件

【火災・救急メモ】
1、平成24年秋季全国火災予防運動
▽11月9日（金）～11月15日（木）までの7日間

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として実施されます。

◎平成24年度全国統一防火標語
「消すまでは　出ない行かない　離れない」

【住宅防火　いのちを守る7つのポイント】―3つの習慣・4つの対策―
▽3つの習慣
・寝タバコは、絶対やめる
・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
▽4つの対策
・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防火製品を使用する。
・火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置する。
・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

2、火災予防パレード（消防車両による巡回広報）
日時：11月11日（日）午後1時～3時（雨天決行）
場所：壱岐市芦辺町内
参加機関：壱岐市消防団芦辺地区、瀬戸・湯岳婦人防火クラブ、壱岐市芦辺支所、壱岐消防署

第56回 壱岐市美術展覧会実施要項

(1)名称　第56回壱岐市美術展覧会（略称　市展）
(2)主催　壱岐市美術協会
(3)後援　長崎県・長崎県文化団体協議会・壱岐市・壱岐市教育委員会・壱岐文化協会　壱岐日々新聞社・壱岐新報社・壱岐新聞社・長崎新聞社・山本文房堂・新栄写真場・赤木写真館・長田写真館・スエナガ写真館・あっぷるぷらざ（サイクサ写真館）
(4)協賛
(5)会期　平成24年11月16日（金）～18日（日）
(6)会場　壱岐文化ホール　壱岐市郷ノ浦町本村触445　TEL47・4111
(7)出展規定（一般公募）
①出品資格
壱岐市内居住者及び出身者（但し、中学生以下を除く）
②出品作品の部門及び規格
◆絵画の部（洋画・日本画・版画など）
○必ず額縁ひもをつけること。
◆彫塑・工芸の部
◎彫塑（木彫・石彫・石膏像など）
○大きさ、重量に制限はないが危険でないもの。
◎工芸・デザイン（窯芸・木工・金工・染色・ポスターなど）
○立体に制限はないが、ポスターなどは半切以上平面デザイン四切以上。額装・又は台紙をつける。
◆書の部（条幅・扁額）　○額装、表装。○作品の語句、読み等を楷書で書いて作品の下に貼付する。○仕上寸法　90cm×240cm以内、縦横自由。
◆写真の部（モノクロ・カラー）　○四つ切以上の大きさで、枠張り、額装とする。○組写真は1点とみなす。（4枚以内の作品）
③出品作品の制限
○最近作で未発表のものとし、盗作などは発表後でも取り消す。○中央展、団体展などの作品は参考出品とする。
④出品手数料　○出品応募は1部門につき1人1点1000円、2点以上1500円、学生は500円を申し込みと同時に納入のこと。○出品点数は1部門1人3点までとする。○出品料の払い戻しはしない。
⑤出品申し込みと搬入、受付
日時　平成24年11月13日（火）午後1時～5時
場所　壱岐文化ホール1階（102室）
※搬入受理のとき出品証及び手数料受領証を渡す。
⑥作品の展示及び搬出
○出品作品を展示し、入賞者は会場及び新聞紙上で発表する。
○展示については委員で行い、出品者の異議申し立ては認めない。
○作品は11月18日（日）午後4時より会場でお返しする。当日は5時以後は会として撤去の責任はもてません。
○作品の搬出入に要する経費は全て出品者負担とする。
○不可抗力による作品の汚破損、亡失等の責任は負わない。
⑧審査　平成24年11月15日（木）午前9時より展示及び審査
会長が委嘱した審査員によって厳正な審査を行う。（各部門の審査員は公表する。）
⑨発表　入賞者の発表は個人連絡と新聞紙上発表。入選者の発表は展示にかえる。
⑩表彰　○入選作品中各部門に優秀作に次の賞を授与する。山口幹雄賞（特別賞）・県知事賞・市長賞・市教育委員会賞・各新聞社賞・文化協会賞・美術協会賞
○授与式　11月18日（日）午後3時　展示場に於いて
11月15日（木）展示（9時）後、総会、会員の皆様は御出席の上、御協力をお願いします。

壱岐市美術協会事務局（市展事務局）
TEL・FAX（0920）43・0428
〒811・5552　壱岐市勝本町百合畑触490・1
品川哲範